

進路だより



福島県立相馬支援学校
進路指導部
令和6年7月19日発行

1学期は、6月に高等部の産業現場等における実習、7月に中学部の校内実習が実施されました。卒業後の進路など学校の玄関に掲示していますので、ぜひご覧ください。

7月25日、26日には、福祉サービス事業所説明会を2年ぶりに実施します。地域の事業所を知る機会となりますので、卒業後の進路を考える参考になればと思います。

各学部の取り組みについて紹介します

「中学部前期産業現場等における実習」

中学部 進路指導部

中学部では、前期と後期の2回校内実習を実施しており、今年度の前期産業現場等における実習は、7月1日(月)~7月5日(金)までの5日間で行われました。紙すき班と刺し子班の2つの班に分かれて実習に取り組み、自分の立てた目標を意識して、最後まで集中して取り組む様子が見られました。1年生は、初めての实習で不安や緊張もありましたが、1日終えるごとに少しずつ実習にも慣れ、最後までがんばることができました。また、実習を振り返る時間に実習を通してできたことや今後の学校生活や学習での課題を確認することができました。今回の経験を、これからの作業学習や後期産業現場等における実習につなげていきたいと思ひます。



〈紙すき班〉



〈刺し子班〉



「進路実現に向けて」

小学部 進路指導部

社会に出たときに必要とされるスキルとして、「前に踏み出す力(アクション)」「考え抜く力」「チームで働く力」の3つが上げられます。これは、2006年に経済産業省により「多様な人々と仕事をしていくうえで必要な基礎的な能力(社会人基礎力)」として定義された概念です。そこで、進路の実現に向けて、中・高等部だけではなく、小学部から日常生活の指導や生活単元学習など、あらゆる学習活動を通して、働き続ける力、生活していく力を身につけられるように、日々学習しています。挨拶や返事、ご家族の手伝い、毎日登校するための健康管理など、ご家庭でもできることはたくさんあります。是非夏休みというこの機会に、お子様と一緒にできそうなことから始めてみてはいかがでしょうか。小さな積み重ねが、高等部卒業時には大きな成果に繋がっていると思ひます。また、どのようなことをご家庭で行っていけば良いか、具体的に知りたい場合には、お気軽に担任を通して進路担当までご連絡ください。



〈交通安全教室〉



〈遊びを通じたコミュニケーション〉



〈掃除〉

「高等部前期産業現場等における実習について」

高等部 進路指導部

6月10日(月)～6月21日(金)の2週間、高等部前期産業現場等における実習を実施しました。1年生は校内実習、2・3年生は主に校外実習を行いました。

1年生は、初めての实習で不安もあったと思いますが、この2週間で一歩ずつ成長した姿が見られました。2、3年生はこれまでの実習での課題を把握した上で、実習の目標を立て、校外での実習を終え、様々な人とかかわりながら仕事や生活する上での大切さなど、さらに理解を深めることができました。

3年生は、卒業を見据えた上での実習となり、仕事のやりがいなどを感じながらも卒業後働くことや生活することをイメージしながら実習に取り組むことができました。実習が終わり、態度面、作業面、生活面の振り返りをし、できたこととできなかったことを明確にし、今後の学校生活に生かしていくことを考え、実習のまとめをすることができました。



〈校内実習〉



〈就労継続B型事業所〉



〈企業〉

「ふくしまアビリンピック2024(第23回福島県障がい者技能大会)」

7月6日(土)に福島市にあるポリテクセンター福島でふくしまアビリンピック2024が開催されました。本校では、高等部3年生の今野雄斗さんがビルクリーニングの種目に出場し、結果は、金賞(県知事賞)を受賞しました。雄斗さんは、総合サービス班に1年生から所属し、日々の学習の中で、自分自身の技術向上に努めてきました。結果だと思います。金賞を受賞したことで、全国アビリンピックへの出場権を獲得しました。全国アビリンピックは、11月22日(金)から24日(日)まで愛知県国際展示場で開催されます。応援をよろしくお願いいたします。



全国アビリンピック
出場権獲得